◎ 美術館情報

最新の情報は、各施設の公式ホームページなどでご確認ください。

1. 横山美術館 【愛知・名古屋】 (https://www.yokoyama-art-museum.or.jp/event/index.html?id=related_event89)

1 月 23 日(金)～5 月 10 日(日)

企画展: 色褪せない日本の美 陶板展

ヨーロッパでは古くから絵皿を壁に掛けて楽しむ習慣があり、18 世紀には板状の陶磁器に絵画を絵付けする、陶板が生まれたとされます。窯の中で色合いが変化してしまう絵具を思いどおりの色に焼き付けるには、経験によって培われる高い技術が求められました。しかし、絵具の退色や剥落が少なく、陶磁器素地の変質も生じにくい陶板は、長年にわたって鑑賞することが可能です。日本でも明治時代になると、輸出用の陶板が盛んにつくられました。難しい磁器製の板の制作は瀬戸が得意とし、特に三代加藤善治は、5 ミリ前後の厚さしかない長大で平滑な磁器の板を歪みなく焼き上げ、絶賛されたのです。年月を経ても色褪せることのない陶板の美をお楽しみください。

2. 岐阜県現代陶芸美術館 【岐阜・多治見】 (https://www.cpm-gifu.jp/museum/events/event/event-10633)

1 月 31 日(土)～3 月 15 日(日)

企画展: 美濃陶芸の系譜 玉置保夫展

岐阜県現代陶芸美術館では「美濃陶芸の系譜 玉置保夫展」を開催する運びとなりました。玉置保夫(1941 年生まれ)は、美濃桃山陶にあらわれた破格の織部の精神を現代に映し出すように、「今織部」として独自の世界を創出し続けています。本展では、若き頃から取り組む志野、織部の近作を中心に、玉置の飽くなき美濃焼への挑戦と斬新で独自性溢れる技の美を紹介します。

3. 五島美術館 【東京・世田谷】 (https://www.gotoh-museum.or.jp/event/next/)

2 月 21 日(土)～3 月 29 日(日)

企画展: [館蔵] 中国の陶芸展

漢時代から明・清時代にわたる館蔵の中国陶磁器コレクション約 60 点を展観。古代の計量道具から、唐三彩の壺、宋時代の砧青磁、明時代の青花・五彩まで、時代順に展示し、2000 年にわたる中国のやきものの歴史を展望します。特集展示として館蔵の古鏡コレクションも同時公開。

4. 日本民藝館 【東京・目黒】

(https://mingeikan.or.jp/exhibition/schedule/?id=ex202603&lang=ja)

3 月 20 日(金・祝)～5 月 27 日(水)

企画展: 創設 90 年記念 河井寛次郎と濱田庄司

陶芸家の河井寛次郎(1890～1966)と濱田庄司(1894～1978)は、東京高等工業学校(現・東京科学大学)で出会い、生涯にわたって親交を深めました。二人は柳宗悦(1889～1961)の思想に共鳴し活動する中で、1925 年に柳と共に「民衆的工藝」略して「民藝」を造語します。創設 90 年記念第一回の特別展では、「民藝」の出発点に立っていた河井・濱田両名の作品を展示し、それぞれの魅力を紹介します。

5. 多治見市美濃焼ミュージアム 【岐阜・多治見】（https://www.tajimi-bunka.or.jp/minoyaki_museum/archives/7054）

2 月 14 日（土）～4 月 12 日（日）

第 5 回全国やきもの甲子園 2026 入賞・入選作品展

1400 年の歴史を刻んできた美濃焼の産地・岐阜県多治見市を舞台に、令和 7 年の秋冬、高校生たちのやきものコンテストが開催されました。第 5 回目となる今回は「挑め、キミだけの土と炎」をテーマとした個人部門と、「喜怒哀楽」をマグカップで表現するという学校対抗の団体部門で頂上決戦が繰り広げられます。やきものに魅せられ青春をかける若き高校生たちの作品のうち、入賞・入選作品を多治見市美濃焼ミュージアムにて展示します。やきものの将来を担う若い世代の作品をご覧ください。

【表彰式】　令和 8 年 2 月 14 日（土）14:00～

【場　所】　多治見市美濃焼ミュージアム（多治見市東町1－9－27）

【審査員】

審査員長　伊村 俊見　（多治見市美濃焼ミュージアム館長）

審査員　川上 智子　（ギャラリーヴォイスエグゼクティブディレクター）

曽根 洋司　（公益社団法人美濃陶芸協会副会長）

土井 洋祐　（多治見市陶磁器意匠研究所　職員）

林 いづみ　（岐阜県現代陶芸美術館　学芸員）

【やきもの甲子園概要】

募集期間:　令和 7 年 8 月 1 日（金）～令和 8 年 1 月 14 日（水）

応募資格:　全国の高等学校、高等専門学校等に所属する学生

応募条件:　・やきものを中心とした作品であること

・未発表、あるいは他の公募展に入選していない作品

・室内での展示に支障のない大きさ・重量・形態のもの

入賞・賞金

（個人部門）:　最優秀賞（5 万円）1 作品　優秀賞（3 万円）3 作品

工芸賞（1 万円）2 作品程度

技術賞（1 万円）2 作品程度　アイディア賞（1 万円）2 作品程度、

佳作（5 千円）10 作品程度　やくも賞（やくもグッズ）1 作品程度

（団体部門）:　金賞 1 作品・銀賞 1 作品・銅賞 1 作品・入選 10 作品程度

6. 多治見市美濃焼ミュージアム　多目的ギャラリー 【岐阜・多治見】

「やくならマグカップ企画展」 ～原画や絵コンテから知るアニメ制作の軌跡～

【日　時】　令和 8 年 2 月 14 日（土）～令和 8 年 4 月 12 日（日）

【場　所】　多治見市美濃焼ミュージアム（多治見市東町 1－9－27）

【時　間】　9 時～17 時（入館は 16 時 30 分まで）

【休館日】　月曜日

【観覧料】　一般:320 円（260 円）　大学生 210 円（150 円）　※（　）内は団体料金（20 名以上）、高校生以下

障がい者手帳の交付を受けている方とその付添いの方 1 名は無料

【お問合せ先】　多治見市美濃焼ミュージアム　0572－23－1191　多治見市商工観光課　0572－22－1250